

一般社団法人 日本精神保健看護学会
2024 年度第 1 回代議員会議事録

日時：2024 年 5 月 31 日（金）17:00～18:30

場所：国際医療福祉大学成田キャンパス 小会議室 7（6 階）

〒286-8686 千葉県成田市公津の杜 4 丁目 3

代議員総数：50 名

出席代議員：47 名（出席 32 名、委任状出席 15 名）

寺岡 征太郎（理事長）

安部 寛明、岩切 真砂子、遠藤 淑美、大川 貴子、岡田 佳詠、片岡 三佳、
香月 富士日、萱間 真美（副理事長）、柴田 真紀、田井 雅子、竇田 穂、多喜田 恵子、
武井 麻子、田中 浩二、玉木 敦子、千葉 理恵、辻脇 邦彦、土田 幸子、永井 優子、
野末 聖香、長谷川 雅美、畠山 卓也、濱田 由紀、福田 紀子、藤野 成美、武用 百子、
松田 光信、三木 明子、宮本 眞巳、宮本 有紀、山田 浩雅

出席理事：寺岡 征太郎（理事長）

遠藤 淑美、大川 貴子、岡田 佳詠、香月 富士日、萱間 真美（副理事長）、
桐山 啓一郎、玉木 敦子、千葉 理恵、寺岡 征太郎、中戸川 早苗、松田 光信、
野末 聖香、長谷川 雅美、畠山 卓也、濱田 由紀

出席監事：多喜田 恵子

議長：寺岡 征太郎（理事長）

議事録作成者：寺岡 征太郎（理事長）

配布資料：資料 1_2023 年度事業報告

資料 2_2024 年度事業計画

資料 3_2024 年度予算

資料 4_第 35 回・第 36 回学術集会会長の選出

資料 5_2023 年度決算報告書

資料 6_監査報告

資料 7_会員選考規程の変更について

資料 8_名誉会員の推薦

1. 開会宣言

寺岡理事長より定款第 17 条に基づき、2024 年度第 1 回代議員会の開会の宣言がなされた。

2. 理事長挨拶

寺岡理事長より挨拶があった。

3. 出席人数の確認と会議成立宣言

寺岡理事長より、17:00 時点での代議員出席者 45 名（出席 30 名、委任状 15 通）があり、定款第

21 条に基づき、定足数を満たす出席があり本代議員会が適法に成立していることが宣言された。途中から出席された 2 名の代議員を加え、最終的には 47 名（出席 32 名、委任状 15 通）の代議員にて代議員会が開催された。

4. 議長確認・議事録署名人の承認

議長は、定款第 19 条の規定により、寺岡理事長が務めることが確認された。次いで、寺岡理事長より、定款第 24 条、定款施行細則第 7 条に基づき、議事録署名人として宮本有紀代議員、山田浩雅代議員が推薦され、会場からの拍手により承認された。

5. 第 34 回学術集会会長挨拶

岡田佳詠第 34 回学術集会会長より挨拶があった。

6. 報告事項

1) 2023 年度 事業報告（資料 1）

(1) 理事会活動報告

寺岡理事長より理事会活動報告がなされた。

(2) 各委員会活動報告

① 学術集会

萱間副理事長より活動内容の報告がなされた。

② 編集委員会

玉木委員長より活動内容の報告がなされた。

③ 研究活動推進委員会

遠藤委員長より活動内容の報告がなされた。

④ 表彰委員会

長谷川委員長より活動内容の報告がなされた。

⑤ 教育の質向上委員会

松田委員長より活動内容の報告がなされた。

⑥ 実践の質向上委員会

岡田委員長より活動内容の報告がなされた。

⑦ 学術連携委員会

畠山委員長より活動内容の報告がなされた。

⑧ 広報・情報委員会

千葉委員長より活動内容の報告がなされた。

⑨ 社会貢献委員会

香月委員長より活動内容の報告がなされた。

⑩ 災害対策委員会

大川委員長より活動内容の報告がなされた。

⑪ 倫理・利益相反委員会

野末委員長より活動内容の報告がなされた。

⑫ 総務委員会

中戸川総務委員長より活動内容の報告がなされた。

⑬ 精神保健医療現場における虐待防止に向けての取り組み

寺岡理事長より活動内容の報告がなされた。

⑭ 高度実践看護師活用促進検討委員会

寺岡理事長より活動内容の報告がなされた。

⑮ その他

中戸川総務委員長より活動内容の報告がなされた。

(3) 学会員の動向

中戸川総務委員長より学会員の動向について報告がなされた。

<質疑応答>

永井代議員：学術連携委員会からの報告の4)の精神保健従事者団体懇談会（精従懇）定例会への参加について、2024年3月23日は、定例会ではなく、精神保健フォーラムが開催されていたかと思う。畠山委員長も発表されていたかと思うが、これは事業として挙げなくていいのか。

学術連携委員会委員長

畠山理事：2024年3月23日の精従懇については、定例会の代わりに精神保健フォーラムが開催されることが精従懇にて話し合われていたため、今回は資料のような記載とした。

永井代議員：それでは、訂正はなしということか。

学術連携委員会委員長

畠山理事：3月23日に関しては、精神保健フォーラムが開催され、参加したと記載内容を訂正したいと思う。

永井代議員：学会活動にも関わる大きな事業かと思うので、できればタイトルを挙げて記載していただきたい。

学術連携委員会委員長

畠山理事：承知した。

2) 2024年度 事業計画（資料2）

寺岡理事長より2024年度事業計画について報告がなされた。

3) 2024年度 予算（資料3）

濱田会計担当理事より2024年度予算について報告がなされた。

<質疑応答>

岩切代議員：3団体会議がどのような動きをしているのかを教えて欲しい。

寺岡理事長：2023年の春頃から始まった3団体会議の動きについて、昨年5月に声明を発出したことは、一斉配信メールにて報告をしたかと思うが、その声明文の中に精神科病院で

虐待防止に向けてのハンドブックを作ることになったため、日精看が中心に虐待防止の手引きを作成した。その作成のプロセスに本学会も3団体会議を通じて関わり、手引きに盛り込む内容や内容についての意見を伝える等を行った。全ての意見が採用されたわけではないが、日精看の方で手引きを作成し、精神科の病院を中心に配布された。

しかし、配布されただけではなく、活用されないと意味がないため、3団体で広く周知していくことの確認を行ったため、本学会でも日精看から手引きが発行されたことのアナウンスを行った。各団体の取り組みについて3団体会議で4・5ヵ月に1度会議があり、状況の確認や共有を行っていた。本学会からは岡田理事が委員長として活動している、実践の質向上委員会主催の虐待防止の研修会や学会で作成した虐待防止動画についての広報を日精看でも対応をしていただいた。

岩切代議員：虐待防止動画について、インターネット環境がないと見るできないかと思うが、インターネット環境がなくても閲覧できるものも作成いただくと大変ありがたい。

寺岡理事長：ワーキングの活動は今年度も継続して行う予定であるため、今いただいた意見を反映できるように話し合いを続けていきたいと思う。

永井代議員：高度実践看護師活用促進委員会で調査を行うとのことだが、専門性の高い看護師および高度実践看護師というのは、具体的に何をさしているのか。例えば、精神科看護協会がだしている精神科認定看護師や精神のCNSが含まれるのか。どのような職種に調査をすることを予定しているか、教えて欲しい。

寺岡理事長：その辺りの内容を委員会のなかで話し合っているところであり、対象とする人をどこに置くのか、専門性の高い看護師というのはどの資格を示すのかを議論している。そのため、今回の永井代議員からの意見を委員会にも伝えたいと思う。

永井代議員：調査対象者がまだ決まっていないとのことだが、2024年度予算案に記載されている内容はどのようにして決めたのか。予算のなかで収まらない調査になる可能性もあるということか。

寺岡理事長：調査対象はまだ決まっていないが、調査はオンラインで行う予定のため、オンライン調査に必要な費用を2024年度予算に記載した。

永井代議員：追加で、先ほど特定行為研修を終えた方とあったが、精神科薬物療法を取っている方々で、精神科で実践を行っている人はあまりいないかと思うので、先ほどの特定行為の箇所についても含めて検討いただければと思う。

寺岡理事長：全数検査をするわけではなく、オンラインで調査について広報し、協力いただける方に協力いただくといったスタンスをとることになるかと思う。永井代議員の意見内容については、同じ認識であるため、いただいた意見は委員会にフィードバックしたいと思う。

武井代議員：資料9ページの7番目教育の質向上委員会の内容について、1)精神看護教育と記載があるが、ここは学会名である精神保健看護となっておらず保健が入っていないのはなぜか。同じく資料10ページ目の15番高度実践看護師活用促進検討委員会の2)精神看護領域におけるとあるが、ここも保健が入っていないことが気になった。

教育の質向上委員会委員長

松田理事：調査の対象者は看護基礎教育を行っている方であるが、調査を行う際に恐らく精神看護学といった表現を使用した方が、調査内容としては伝わりやすいのではと考えたためであるが、学会名と合わせるといった認識が委員会でなかった。今後文言についてどのように取り扱うかについては、改めて委員会で検討を行いたいと思う。

寺岡理事長：高度実践看護師活用促進検討委員会については、恐らく委員会できちんと検討できていないかと思うので、今回のご指摘を委員会にフィードバックし、どういった表記することが今回の調査に合うのかを検討していきたいと思う。

4) 日本精神保健看護学会第35回および第36回学術集会会長の選出結果(資料4)

寺岡理事長より第35回学術集会会長として田中浩二会員(金沢大学)を、第36回学術集会会長として守村洋会員(札幌市立大学)をそれぞれ理事会で選出した旨、報告がなされた。

7. 審議事項

・第1号議案 2023年度決算報告書(資料5)

濱田会計担当理事より、2023年度決算として貸借対照表、正味財産増減計算書、予算対比正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記について説明がなされた。

→会場からの質疑は特になく、挙手多数にて1/2以上の賛成を認め、定款第21条に基づき承認された。

・第2号議案 2023年度監査報告(資料6)

多喜田監事より2023年度監査報告がなされた。

→会場からの質疑は特になく、挙手多数にて1/2以上の賛成を認め、定款第21条に基づき承認された。

・第3号議案 会員選考規程の変更について(資料7)

寺岡理事長より会員選考規程の変更について報告がなされた。

→挙手多数にて1/2以上の賛成を認め、定款第21条に基づき承認された。

<質疑応答>

永井代議員：第3条の第8号の追加については賛成だが、その他の箇所文言を精神保健看護学およびそれに関連した分野に変更した理由をもう少し詳細に説明して欲しい。

寺岡理事長：第3条に記載のある文言に揃えたことに加え、精神保健福祉は精神保健看護学に関連した分野に含まれると認識しているため、第3条の元々の表現にあわせた。

武井代議員：学会の創設当初は、精神保健学という言葉があまり知られていなかったなどが経緯としてあるが、今回の変更は、現在は精神保健学という言葉も知られるようになっていくことに加え、学会名ともあっているのが良いのではないかと思う。

・第4号議案 名誉会員の推薦（資料8）

寺岡理事長より新名誉会員について報告がなされた。

→会場からの質疑は特になく、挙手多数にて1/2以上の賛成を認め、定款第21条に基づき承認された。

新名誉会員が承認されたため、別室で待機されていた岡谷恵子氏、野嶋佐由美氏に会場にお越しいただき、名誉会員証の授与式が行われ、岡谷氏、野嶋氏それぞれから挨拶がされた。平澤久一氏は明日の総会で名誉会員証の贈呈、池邊敏子氏は今回は出席不可のため、桐山総務副委員長より手渡しされることの報告がなされた。

8. 第35回学術集会会長挨拶

田中浩二第35回学術集会会長より挨拶があった。

9. 出席名誉会員の挨拶

今回の代議員会には名誉会員の出席はなかった。

10. 閉会宣言

寺岡理事長より閉会宣言がなされた。